

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

国語科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

国語科における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 （中学校）

1 単元材の概要

学 年：第 1 学年

単 元 名：「文章を読んで、理解したことを報告しよう」 5 時間扱い

単元の目標：文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ

※〔知識及び技能〕(2)ア、〔学びに向かう力、人間性等〕の単元の目標は省略

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・プレゼンテーションソフトを活用して、図や表を用いながら筆者の論の進め方を報告シートで可視化することにより、文章の構成や展開を視覚的に捉えることができます。
- ・報告シートをもとに互いの考えを交流することにより、自分の考えを確かなものにすることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・プレゼンテーションソフト

【参考資料】

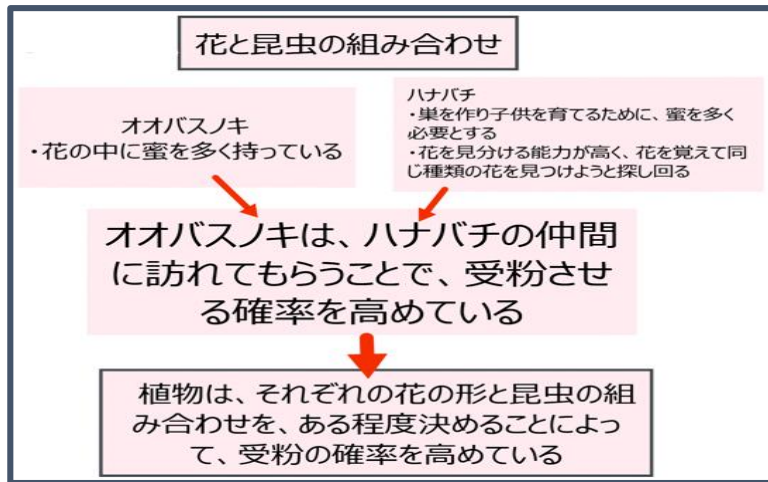
- ・事例に関する学習指導案



国語科における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 （中学校）

4 1 人 1 台端末の活用例

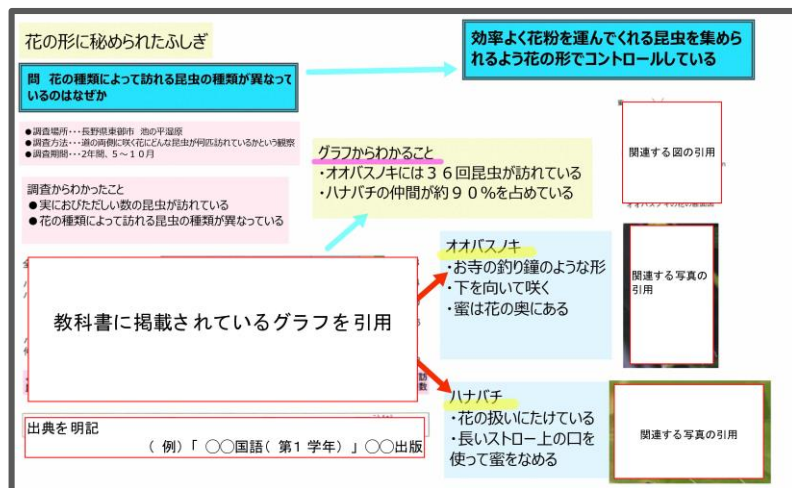
【ICTの活用場面①】



〔文章の構造を捉えて要旨を把握し、付箋を矢印でつなぐ〕

- ・ 報告シートを作成する場面において、生徒がプレゼンテーションソフトを活用して事実と意見との関係や筆者の論の進め方を付箋に示して可視化することにより、文章の構成や展開を視覚的に捉えることができます。
- ・ 文章を読み返しながら、複数の付箋をどのような位置関係で並べたらよいか、付箋同士がどのようにつながっているかを考えることにより、構成や展開の効果について、自分なりの考えを明確にすることができます。

【ICTの活用場面②】



〔報告シートを共有し、互いに報告し合う〕

- ・ 文章を読んで理解したことを報告し合う場面において、教科書等に掲載されている図や表を用いながら報告することで、より説得力のある説明ができます（著作物をクラウド上に保存する場合は、授業目的公衆送信補償金制度を活用する必要があります）。
- ・ 振り返りの場面において、足りない付箋がなかったか、付箋同士のつながりは適切だったかなど、コメント機能を活用した聞き手からの助言をもとに、報告シートの内容を見直すことができます。

国語科における 1 人 1 台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①国語科における「学習過程」と ICT の活用場面

国語科では、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けていることから、ICT の効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができます。

題材の設定	インターネット ・情報の収集 ・情報の整理	
情報の収集		
内容の検討	文章作成ソフト ・下書きの入力 ・コメント機能 ・校閲機能 ・データの提出	
構成の検討		
考えの形成		
記述	推敲	共有

(例) 「書くこと」の学習過程と ICT の活用

②場面に応じた国語科における ICT 活用

学習過程を踏まえ次のような場面で ICT を効果的に活用することができます。

①情報を収集して整理する場面

- ・インターネットの活用
- ・情報のデータベース化など

②自分の考えを深める場面

- ・画面上の付箋に自分の考えを分類、整理など

③考えたことを表現・共有する場面

- ・プレゼンテーションソフトを活用した発表資料の作成など

④知識・技能の習得を図る場面

- ・デジタル教科書等を活用した筆順や点画の書き方の理解など

⑤学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

- ・モデルとなるスピーチ動画の視聴による見通しの明確化など

【参考資料】

- ・国語科の指導における ICT の活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】